

国立公園に関する旅行意識

2017年4月17日
公益財団法人日本交通公社

～JTBF旅行意識調査トピックス～

当財団では、日本人の旅行意識に関する調査を毎年実施し、その結果の一部は、10月発行の旅行年報に掲載しています（<https://www.jtb.or.jp/publication-symposium/book/annual-report>）。

今回は、調査結果の中から、2016年3月に政府がとりまとめた『明日の日本を支える観光ビジョン』の中で活用が促されている国立公園をとりあげます。

調査概要

調査名 : JTBF旅行意識調査
 調査対象 : 全国18～79歳の男女（調査会社のパネルより抽出）
 調査方法 : 郵送自記式調査
 調査時期 : 2016年6月実施

主な調査項目 :

- ・旅行実施有無、旅行動機、旅行阻害要因
- ・行ってみたい旅行（タイプ／旅行先）
- ・情報収集源、予約方法、旅行会社の利用状況
- ・特定の旅行タイプの旅行経験及び今後の経験意向
- ・観光地別の認知と経験、イメージ、来訪意向 など

回答者属性 :

2016年	男性							女性							合計
	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	
年齢（歳）															
標本の大きさ（人）	15	115	133	101	100	122	77	12	88	119	106	111	129	112	1,340
構成比（%）	1.1	8.6	9.9	7.5	7.5	9.1	5.7	0.9	6.6	8.9	7.9	8.3	9.6	8.4	100.0

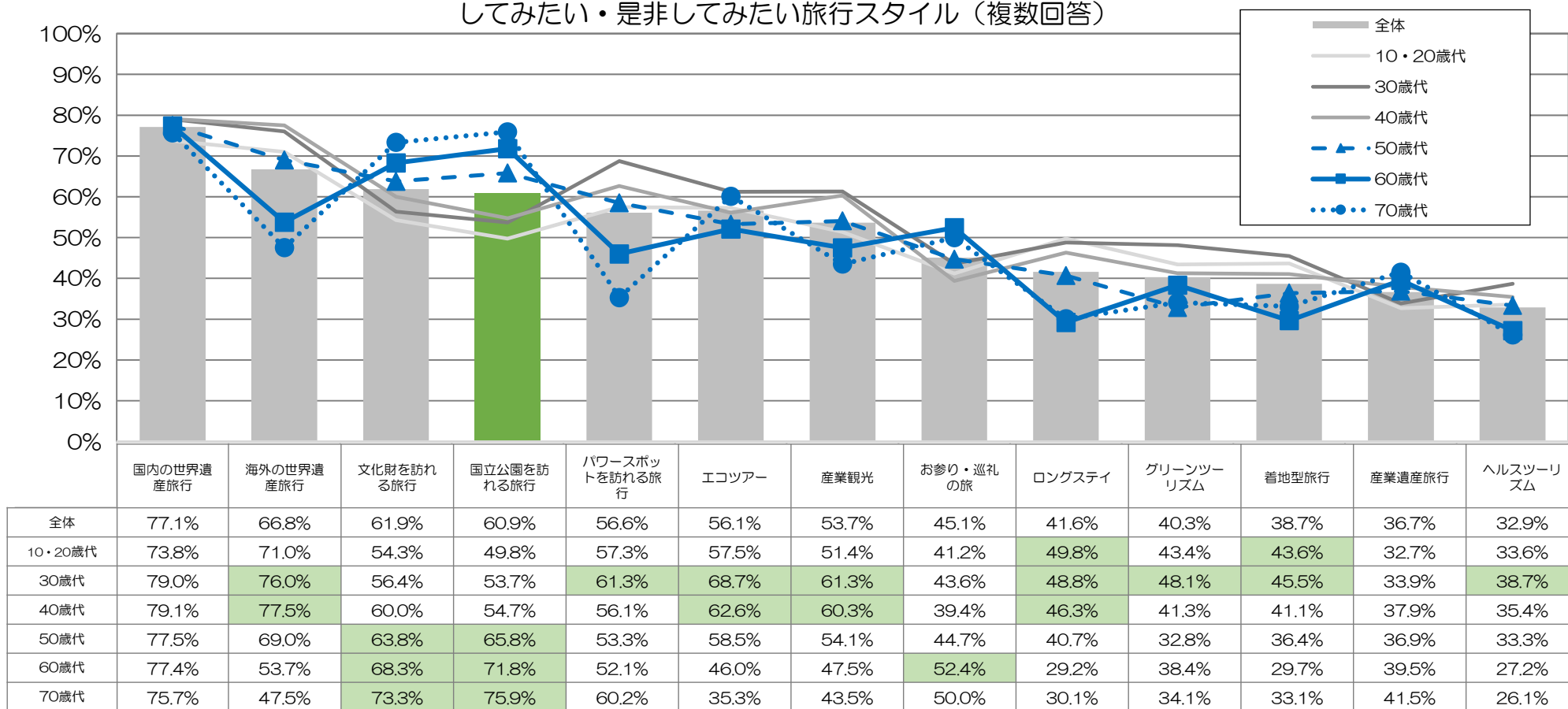
※国勢調査時の人口に基づき、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割り当て。

国民の約6割、国立公園を訪問したい

- 参加したい旅行について尋ねたところ、「日本の国立公園を訪れる旅行」への参加意向は60.9%で、「国内外の世界遺産旅行」、「文化財を訪れる旅行」に続く高人気となっています。
- 年代別で見ると、50歳代以上に特に人気があり、70歳代では全旅行スタイルの中でも最も人気となっています。
- なお、これらの旅行スタイルを主成分分析を用いて分類した結果、「日本の国立公園を訪れる旅行」は、「文化財を訪れる旅行」や「お参り・巡礼」と同じグループ※となりました。このことから、国立公園への訪問は、古くから楽しまれているタイプの旅行と同様に捉えられているようです。

※ その他のグループ：【エコツアー／着地型観光／ヘルスツーリズム／グリーンツーリズム】・【国内の世界遺産旅行／海外の世界遺産旅行／ロングステイ】

してみたい・是非してみたい旅行スタイル（複数回答）



※ 全体より5%以上高い数値に網掛け

多様なイメージと独自性、宿泊施設が魅力のカギ

- 国立公園エリアを含む11の観光地に対してイメージ調査を実施した結果、行ってみたい観光地の1位は箱根で、以下やんばる、奄美大島と続きました。
- 人気観光地ほどイメージが複数挙がっており、1位の箱根は「良い宿泊施設」があること、また2～5位の観光地は「他にないみどころ」や「独特の雰囲気」がある点が特徴となっています。
- 一方、魅力的な資源があるにも関わらず、そのことがイメージとして伝わっておらず、ポテンシャルを活かしきれていない観光地もありそうです。

観光地への訪問意向（単一回答）・当てはまるイメージ（複数回答）

観光地名称	行ってみたい・計	イメージ											母数							
		自然や風景がすばらしい	歴史や文化がすばらしい	他にない見どころがある	見るものが多くバラエティ豊富	街並みがすばらしい	祭りや伝統芸能や特産品がある	いい温泉がある	おいしい食べ物がある	その地ならではの活動や楽しみがある	いろいろな活動や楽しみがある	いい宿泊施設がある		気候がよく居こちがよい	地域の人のふれあいがある	にぎやかで楽しい	独特の雰囲気がある	清潔さや美しさが保たれている	外国人観光客が多い	いずれもあてはまらない
箱根	71.2%	●						●	●		●							●		1011
やんばる	68.6%	●		●						●								●		1059
奄美大島	67.6%	●		●														●		1226
軽井沢	67.0%	●				●			●									●	●	1164
上高地	63.6%	●		●														●		1198
富士河口湖（河口湖）	63.5%	●																		998
白浜（南紀白浜）	63.2%	●						●	●											997
奥日光	60.4%	●	●																	1041
鳥羽	59.0%	●	●							●										1071
南阿蘇	57.3%	●							●											1102
十和田湖	55.4%	●																		811

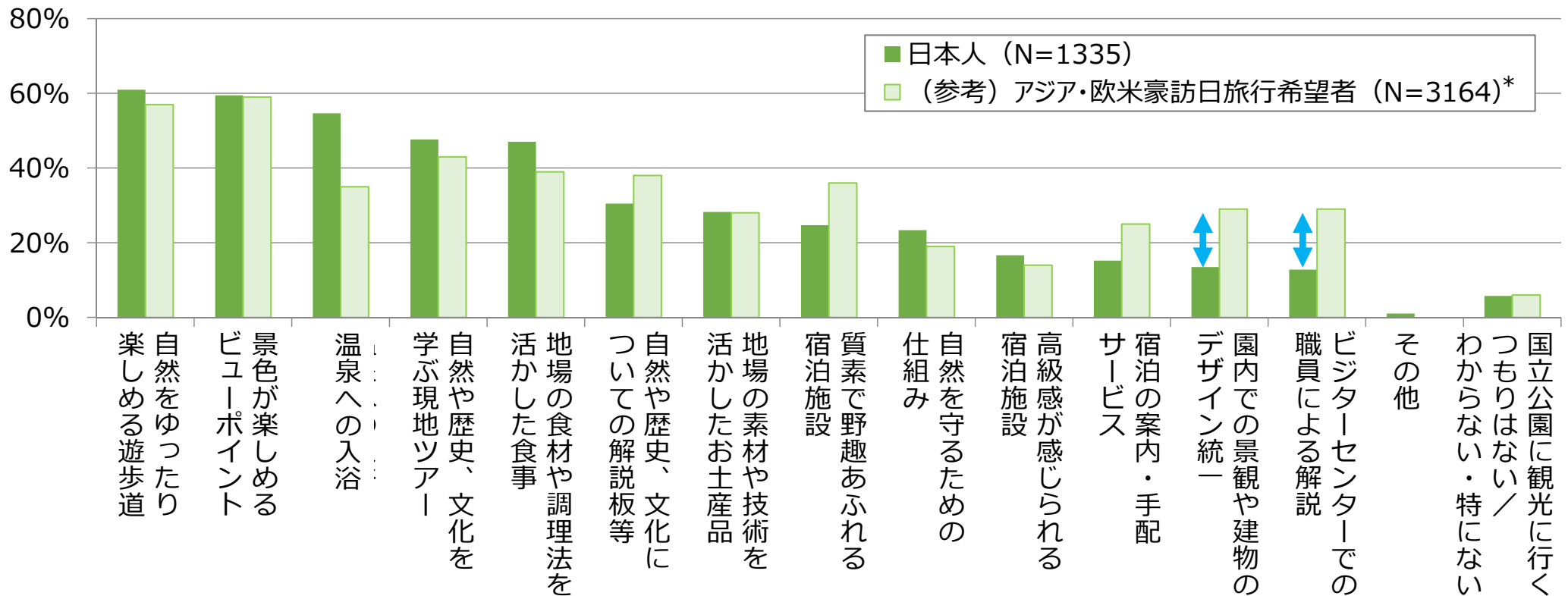
● : 選択率30%以上 ● : 選択率15%以上30%未満

JTBF旅行意識調査において、国内30箇所の観光地について来訪意向とイメージを尋ねている。上記はその中から国立公園を含む観光地11を抜粋した結果である。

求めるものは 遊歩道 と ビューポイント

- 国立公園の観光にあつたら良いものを尋ねたところ、「遊歩道」「ビューポイント」「温泉」の順になりました。
- 同じ質問を日本への旅行を希望する外国人にしたところ、「遊歩道」「ビューポイント」に次いで、3位には「自然や歴史文化を学ぶツアー」が入りました。
- 日本人に比べ、外国人のほうがより多く求めているのは「景観や建物のデザイン」「ビジターセンターでの解説」でした。

国立公園の観光であつたら良い、参加・体験したいもの（複数回答）



*出典：公益財団法人日本交通公社・株式会社日本政策投資銀行「DBJ」・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（平成28年版）」 <https://www.jtb.or.jp/research/theme/inbound/asia8-survey-2016>
インターネットによるアンケート調査。対象地域は韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの12地域。